

高信頼性ICタグ

日本の現場のIT化はこれから

日本には原発も含めて戦後50年以上のプラントが全国に多数あります。その保守点検は細かいルールが決められており、人間の目視チェックによる認識能力に大きく依存しています。

また、第三者の監査も徹底していて、記録文書の厳密なチェックがされます。その記録も膨大となっています。一度なにか不祥事が見つかったら、膨大な文書を手めぐりと目視チェックで大きな講堂を使って行われます。

また、仕事を多くの関連会社に委託する場合も厳しい管理基準が設けられていきます。そのために、低給与で人を沢山集め人海戦術がダブルチェック、トリプルチェックのため推進されていきます。

保守点検業務に1回でも不祥事が発生すると登録業者から抹消されてしまいます。登録業者は真剣に対応していきますが、ある確率で発生するヒューマンエラーを残念ながら排除することはできません。

そうです、日本の現場のIT化はこれからですし、これを推進する意義は十分あると思っています。目の前に膨大なマーケットが待っているのです。